



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 日産車体株式会社

コード番号 7222 URL <http://www.nissan-shatai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 義章

問合せ先責任者 (役職名) 総務部広報グループ担当部長

(氏名) 色摩 隆一

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日

TEL 0463-21-8001

平成22年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	282,663	59.0	15,420	65.7	15,189	89.8	6,654	93.9
22年3月期第2四半期	177,748	△34.5	9,306	△41.6	8,003	△49.0	3,431	△70.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年3月期第2四半期	42.56	—
22年3月期第2四半期	21.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年3月期第2四半期	299,236	150,068	50.2	959.89
22年3月期	269,464	144,120	53.5	921.83

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 150,068百万円 22年3月期 144,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
23年3月期	—	4.50	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	529,000	24.6	20,900	△20.4	20,300	△14.4	8,300	△1.1	53.09

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 157,239,691株 22年3月期 157,239,691株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 899,474株 22年3月期 897,690株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 156,340,971株 22年3月期2Q 156,331,315株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)平成23年3月期第2四半期(3ヶ月)の連結業績
 (平成22年7月1日～平成22年9月30日)

(1)連結経営成績(3ヶ月)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	167,366	63.8	9,706	30.5	9,589	43.9	5,032	69.2
22年3月期第2四半期	102,176	△ 24.9	7,439	△ 0.2	6,664	△ 9.2	2,974	△ 29.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	32.19	—
22年3月期第2四半期	19.03	—

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2.	その他の情報	3
	(1) 重要な子会社の異動の概要	3
	(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
	(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書	6
	【第2四半期連結累計期間】	6
	【第2四半期連結会計期間】	7
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 継続企業の前提に関する注記	9
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4.	補足情報	10
	(1) 連結製品別売上高	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間のわが国経済は、一部に景気回復の兆しが見られるものの、急激な円高進行に加え、雇用や個人消費が引き続き低い水準にとどまるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済情勢の下、当社が日産自動車株式会社から受注しております自動車は、本年1月に量産を開始した輸出向け「新型パトロール」、4月に生産開始の輸出向け「新型インフィニティQX56」や、7月に生産開始の「新型エルグランド」、輸出向け「ピックアップ」の増加などにより、売上台数は前年同期と比べ36.6%増加の140,777台、売上高は売上台数の増加に加えモデルミックスの影響などにより、59.0%増加の2,826億円となりました。営業利益は売上高の増加や合理化の推進などにより、65.7%増加の154億円、経常利益も子会社開業準備費用の減少などにより、89.8%増加の151億円となりました。四半期純利益は、前年同期と比べ93.9%増加の66億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ238億円増加の1,711億円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加291億円、預け金の減少64億円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ59億円増加の1,280億円となりました。これは主に、工具・器具及び備品の増加85億円によるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ297億円増加の2,992億円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ214億円増加の1,283億円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加228億円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ23億円増加の208億円となりました。これは主に、資産除去債務の増加19億円によるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ238億円増加の1,491億円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ59億円増加の1,500億円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による増加66億円、剰余金の配当による減少7億円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成22年5月12日の決算発表時の予想を変更しております。

詳細につきましては、本日平成22年11月4日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理の原則・手続の変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより当第2四半期累計期間の営業利益が21百万円、経常利益が27百万円、税金等調整前四半期純利益が1,827百万円それぞれ減少しております。

2. 表示方法等の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,598	2,359
受取手形及び売掛金	99,570	70,445
仕掛品	7,750	6,396
原材料及び貯蔵品	2,667	2,529
預け金	49,515	55,975
その他	10,062	9,599
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	171,149	147,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,412	19,901
機械装置及び運搬具(純額)	34,892	36,875
工具、器具及び備品(純額)	46,738	38,140
土地	18,394	18,394
建設仮勘定	2,011	2,010
有形固定資産合計	121,448	115,322
無形固定資産	1,772	1,920
投資その他の資産	4,866	4,932
固定資産合計	128,087	122,174
資産合計	299,236	269,464

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	80,591	57,728
未払法人税等	5,243	8,258
製品保証引当金	499	573
その他	41,972	40,255
流動負債合計	128,306	106,816
固定負債		
製品保証引当金	763	800
退職給付引当金	6,773	6,502
役員退職慰労引当金	85	97
その他	13,239	11,127
固定負債合計	20,861	18,528
負債合計	149,167	125,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,904	7,904
資本剰余金	8,517	8,517
利益剰余金	134,128	128,177
自己株式	△480	△479
株主資本合計	150,070	144,120
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
評価・換算差額等合計	△1	△0
純資産合計	150,068	144,120
負債純資産合計	299,236	269,464

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	177,748	282,663
売上原価	165,172	263,546
売上総利益	12,576	19,116
販売費及び一般管理費	3,269	3,696
営業利益	9,306	15,420
営業外収益		
受取利息	265	72
固定資産賃貸料	104	113
その他	45	71
営業外収益合計	414	256
営業外費用		
支払利息	47	43
退職給付会計基準変更時差異の処理額	374	374
子会社開業準備費用	1,220	—
その他	74	69
営業外費用合計	1,717	487
経常利益	8,003	15,189
特別利益		
固定資産売却益	3	0
その他	—	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産除却損	37	44
減損損失	1,321	284
退職特別加算金	—	1,257
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,799
その他	0	157
特別損失合計	1,358	3,544
税金等調整前四半期純利益	6,648	11,645
法人税等	3,217	4,991
少数株主損益調整前四半期純利益	—	6,654
四半期純利益	3,431	6,654

【第2四半期連結会計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	102,176	167,366
売上原価	93,217	155,761
売上総利益	8,959	11,604
販売費及び一般管理費	1,520	1,897
営業利益	7,439	9,706
営業外収益		
受取利息	105	27
固定資産賃貸料	53	55
その他	26	45
営業外収益合計	184	128
営業外費用		
支払利息	23	21
退職給付会計基準変更時差異の処理額	187	187
子会社開業準備費用	710	—
その他	37	37
営業外費用合計	959	245
経常利益	6,664	9,589
特別損失		
固定資産除却損	37	39
減損損失	1,321	284
退職特別加算金	—	1,257
その他	0	7
特別損失合計	1,358	1,589
税金等調整前四半期純利益	5,306	8,000
法人税等	2,331	2,968
少数株主損益調整前四半期純利益	—	5,032
四半期純利益	2,974	5,032

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,648	11,645
減価償却費	8,015	11,099
減損損失	1,321	284
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,799
退職給付引当金の増減額(△は減少)	443	270
受取利息及び受取配当金	△267	△74
支払利息	47	43
固定資産売却損益(△は益)	△2	6
固定資産除却損	37	44
売上債権の増減額(△は増加)	△8,272	△29,125
たな卸資産の増減額(△は増加)	△584	△1,491
仕入債務の増減額(△は減少)	9,298	22,862
その他	△4,812	△3,198
小計	11,873	14,169
利息及び配当金の受取額	295	85
利息の支払額	△48	△45
法人税等の支払額	△2,368	△8,083
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,752	6,126
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△16,571	△3,227
固定資産の売却による収入	11	20
貸付けによる支出	△43	—
貸付金の回収による収入	50	1
その他	80	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,472	△3,172
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△703	△703
自己株式の取得による支出	△1	△1
ストックオプションの行使による収入	22	—
リース債務の返済による支出	△2,909	△9,470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,591	△10,175
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,311	△7,221
現金及び現金同等物の期首残高	60,055	58,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,744	51,113

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 連結製品別売上高

区 分	前年同四半期 平成22年3月期 第2四半期連結累計期間		当四半期 平成23年3月期 第2四半期連結累計期間		増 減	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
	台	百万円	台	百万円	台	百万円
乗用車	56,935	97,422	82,504	183,596	25,569	86,174
商用車	40,816	52,922	50,419	65,200	9,603	12,277
小型バス	5,283	10,762	7,854	15,135	2,571	4,372
部品売上・その他	-	16,641	-	18,730	-	2,089
計	103,034	177,748	140,777	282,663	37,743	104,914

2010年度 上期決算 参考資料

2010年11月4日
日産車体株式会社

連結

(単位：億円)

	当上期実績 '11年3月期	前上期実績 '10年3月期	当通期予想 '11年3月期	前通期実績 '10年3月期
売上高	2,826.6 (59.0%)	1,777.4 (▲34.5%)	5,290 (24.6%)	4,244.7 (▲8.8%)
営業利益	154.2 (65.7%)	93.0 (▲41.6%)	209 (▲20.4%)	262.5 (25.9%)
経常利益	151.8 (89.8%)	80.0 (▲49.0%)	203 (▲14.4%)	237.0 (19.4%)
当期純利益	66.5 (93.9%)	34.3 (▲70.9%)	83 (▲1.1%)	83.9 (▲18.3%)
増減要因 (営業利益)	(増益要因) 億円 台数・構成差 96 合理化 37 (減益要因) 新車費用増他 ▲72 計 61		(増益要因) 億円 合理化 101 台数・構成差 48 (減益要因) 新車費用増他 ▲202 計 ▲53	
配当金(円/株)	中間 4.5円	中間 4.5円	中間 4.5円/年間 9円	中間 4.5円/年間 9円
設備投資	173	146	309	396
減価償却費	110	80	262	173
ネット有利子負債残高	△511	△497	△423	△583
売上台数	千台	千台	千台	千台
乗用車	83 (44.9%)	57 (▲21.8%)	139 (2.3%)	136 (9.6%)
商用車	50 (23.5%)	41 (▲47.3%)	91 (1.1%)	90 (▲27.5%)
小型バス	8 (48.7%)	5 (▲55.4%)	15 (5.1%)	14 (▲32.9%)
計	141 (36.6%)	103 (▲36.5%)	245 (2.0%)	240 (▲10.8%)

*()内は対前年同期増減率